2026年10月16日

Institute of Labor Education & Culture

通信 No.75

編集・発行：公益社団法人教育文化協会
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-2-11　連合会館1F
tel 03-5295-5421　fax 03-5295-5422
URL　https://www.rengo-ilec.or.jp/
発行責任者：専務理事　永井 浩

第23回「私の提言」募集 ～9編の入賞提言を決定～

教育文化協会は連合と共催で第23回「私の提言」を募集し、前回を大きく上回る99編の応募が寄せられました。応募いただいた皆さまに感謝申し上げます。

8月31日に開催した第3回運営委員会で、14名の運営委員による厳正な審査の結果、9編の入賞提言を決定しました。

また、10月8日の連合第98回中央委員会で表彰式を行い、優秀賞を受賞した鈴木彩莉さんが出席し、提言に込めた思いを述べました。入賞提言9編を収録した提言集を会員組織に配布するとともに、教育文化協会ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



▲スピーチを行う鈴木さん

＜入賞提言＞

賞	氏　名	所　属	提言タイトル
優秀賞	鈴木　彩莉	名古屋大学大学院 国際開発研究科博士後期課程3年	妊娠した外国人女性は「労働者」として守られるのか ―多言語SNS発信を母国語相談につなぐ労働組合の役割―
佳作賞	井手　佳輝	不二家労組特別執行委員 （フード連合労働政策局）	誰も取り残さないAI活用へ ～非専従役員と中小労組の実践を支える、連合・労働組合の新たな責務～
	水野なつみ	民間企業勤務	「働けない時間」のあとに　―メンタル休職復職者の視点から連合・労働組合に問う職場復帰支援の刷新に向けて―
	髙谷　鮎香	電力総連　労働政策局部長	限られた人が担う労働組合から、誰もが担える労働組合への転換 ―担い手を広げる労働組合役員の働き方構造の再編―
組合特別賞	石原　崇弘	平和堂グループ労連 ファイブスター労働組合中央執行委員長	DX・AI時代における労働組合の「第三のキャリア支援主体」としての可能性
奨励賞	井下　敬翔	関西大学大学院 商学研究科博士課程後期課程2年	感情は誰のものか AIが心を読む時代に、労働組合が守るべき「感情主権」
	佐久間貴大	中央大学大学院 経済学研究科博士課程後期課程2年	雇用類似就業者による労働組合及び事業協同組合への組織化に関する提言
	鈴木爽太郎	KPMGコンサルティング（株） Technology Consultingコンサルタント	AIを「協議なき導入」で終わらせない　―「職場AI協定」とリテラシー共育による、働く者が主役のAI活用へ―
学生特別賞	木皮　帆俊	安田学園中学校2年	学校の先生を「ブラック」と呼ばせないために ―部活動の地域移行と、労働組合がつなぐ「地域とはたらく大人の新しい関係」

※所属・役職は応募時点のもの。
※奨励賞佐久間様の所属の記載に一部誤りがございました。お詫びして次の通り訂正いたします。
【誤】経済学研究科博士課程後期課程3年→【正】経済学研究科博士課程後期課程2年

連合大学院「修了論文」報告を実施

連合大学院（法政大学大学院連帯社会インスティテュート）は、法政大学・連合・教育文化協会の連携により、法政大学大学院に設置されている修士課程プログラムです。労働組合プログラム、協同組合プログラム、ＮＰＯプログラムの3つからなり、各分野のリーダーや専門家を育てる高度職業専門人財の育成機関として、今年3月修了の10期生まででこれまで85名が修士号を取得し卒業しています。

連合第98回中央委員会では、労働組合プログラム10期の卒業生を代表し、特に優秀な論文として山崎隼人さん（本田技研労組）より、修士論文「研究開発部門の組合員意識と組合活動の持続可能性について―研究開発部門へのアンケート調査を中心に―」の要旨を報告していただきました。



▲会場の様子


▲論文を報告する山崎さん

◆連帯社会研究交流センター「連帯社会」連続講座のご案内◆

連合大学院を運営する連帯研究交流センターでは、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を実施します。オンライン（Zoom）開催のため全国どこからでもご参加可能です。皆さまのご参加をお待ちしています（参加無料）。

お申込みはこちらから

2026年10月17日（土）	第1回：連帯をつくる力 ― アメリカのコミュニティ・オーガナイジングに学ぶ市民参加と社会変革 講 師：山崎　憲（明治大学教授）
2026年10月31日（土）	第2回：ジェンダー平等と同一価値労働同一賃金：自律からみた論点 講 師：禿　あや美（埼玉大学教授）
2026年11月21日（土）	第3回：社会的連帯経済と国際協力ーフィリピンとの連帯事例 講 師：ディッサ・シャキナ・アーダニサ博士（笹川平和財団・研究員）
2026年12月5日（土）	第4回：「放っておけない」をかたちにする―生活クラブ千葉から風の村へ、連帯をつくり続けた50年 講 師：池田　徹（社会福祉法人生活クラブ風の村 特別常任顧問）
2027年2月6日（土）	第5回：労働組合による労働者供給事業の世界 講 師：橋元　秀一（國學院大學名誉教授）
2027年2月27日（土）	第6回：戦後日本の平和運動と生協運動 講 師：岩垂　弘（ジャーナリスト）

連合大学院で学びませんか？

― 働きながら学んで修士号が取得できます―

連合大学院では13期生（2027年4月入学）を募集しています。

教員によるきめ細かなフォローと、連合大学院における学びをサポートする連帯社会研究交流センターの協力により、卒業まで強力にバックアップします。専門知識を身につけることはもちろん、フィールドスタディや実務者による授業を通じて、幅広い教養と視野、政策立案力、実践力を磨くことができます。皆さまのチャレンジをお待ちしています。



▲連合大学院での授業の様子



▲本年9月にミッドウエスト・アカデミー研修に参加
（アメリカ・シカゴ）

受験資格（募集対象）

原則、以下に示す法政大学大学院の規則に準じます。

入学時、25歳以上の者で、次の❶～❸の何れかに該当する者。

❶大学を卒業した者
❷文部科学大臣の指定した者
❸本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（※大学卒、大学院卒でなくても受験できます。）

願書受付と試験日

■春受験
出願期間：1月27日（水）～2月1日（月）
試 験 日：2027年2月27日（土）

※大学卒、大学院卒でない場合には、事前に個別審査を受けていただく必要があり、11月30日（土）までに必要な審査書類（8,000～10,000字のレポート含む）を大学院課に提出する必要があります。

連合本部、地方連合会、連合構成組織の組合員・役職者の方、こくみん共済 coop・労働金庫など福祉事業団体の職員の方は、法政大学が定める「指定団体」である教育文化協会の推薦による入学選考制度を利用できます。遅くとも12月半ばまでに所属団体・組織から指定団体推薦依頼書を当協会に提出していただきます。詳細は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ：連帯社会研究交流センター
TEL：03-6265-0202　Mail：recss@rengo-ilec.or.jp
HP：https://www.rengo-ilec.or.jp/seminar/#pos-rengodaigakuin

連合大学院とは？

公益を追求する非営利組織や広くサードセクターの形成・発展を担う、政策立案・推進能力をもった創造的人材の育成・資質向上、専門的能力の高度化を目的とした、社会人大学院。

院生は、法政大学大学院の連帯社会インスティテュートに設置された、以下の３つのプログラムから一つを選んで専攻。

労働組合プログラム
協同組合プログラム
NPOプログラム

連合寄付講座の後期講義がスタート！

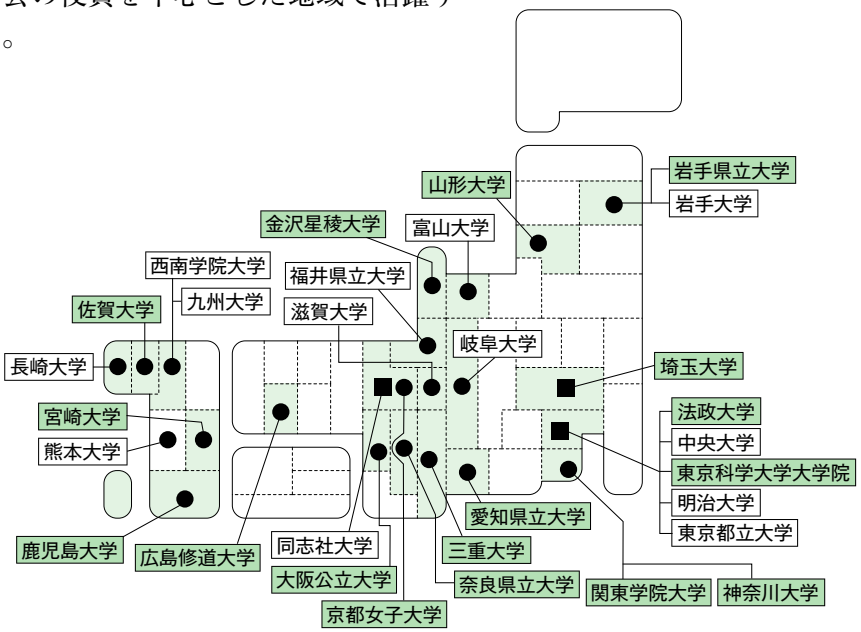
～全国各地で開催中～

9月以降、法政大学、東京科学大学大学院、埼玉大学で2026年度後期の「連合寄付講座」が順次始まっています。法政大学は14年目、東京医科歯科大学との統合で2年前に発足した東京科学大学大学院は前身の東京工業大学大学院から数えて8年目、埼玉大学は20年目の節目の開講となります。

また、地方連合会主催の寄付講座では、東京都立大学（当時の首都大学東京）が8年ぶりに再開するなど、全国各地の計15大学で連合寄付講座を開講します。各地域の労働事情などを踏まえた特色あるプログラムが組まれ、地方連合会の役員を中心とした地域で活躍する講師陣が講義を実施しています。



▲法政大学寄付講座（2026.9.29）の様子



※網掛けは後期講座開講大学
※■は教育文化協会主催の連合寄付講座
※このほか、連合沖縄が沖縄大学で自主的に寄付講座を開講

2026年度東京科学大学大学院　連合寄附講義プログラム

『これから働く学生のためのワークルール入門Ⅰ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	10/ 6	イントロダクション	西田　亮介　東京科学大学特任教授
2	10/13	労働組合の歴史と基礎	逢見　直人　連合顧問
3	10/20	ワークルールを知る	井上久美枝　労委労協事務局長
4	10/27	若年者・フリーランスに関する連合の取り組み	小林　　妙　連合フェアワーク推進局長
5	11/10	職場の声を集める（職場の課題改善に向けた取り組み）	岡本　　晃　富士通労働組合中央副執行委員長
6	11/17	ジェンダー平等と労働組合	畠山　　薫　連合総合政策推進局長
7	11/24	教員による論点整理	西田　亮介　東京科学大学特任教授

『これから働く学生のためのワークルール入門Ⅱ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/ 8	イントロダクション	西田　亮介　東京科学大学特任教授
2	12/15	労働組合と政治・政策	城生　雅浩　連合政治センター事務局局長
3	12/22	仕事と生活の両立に向けた取り組み －男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み－	野亦　弘晃　生保労連副書記長
4	1 / 5	今、働く現場で何が起きているのか －労働相談から見た雇用の現状－	小林　　司　連合中央労働相談センター局長
5	1 /12	働き方と賃金（企業における賃金決定のプロセス）	伊藤　彰英　基幹労連企画調査部部長
6	1 /19	すべての働く者のための取り組み －労働者福祉運動のさらなる広がりをめざして－	佐保　昌一　中央労福協事務局長
7	1 /26	修了講義（東京科学大学の学生に期待することなど）	相原　康伸　教育文化協会理事長

※講義時間は火曜日15：25～17：05、調整中の講義も含む。

2026年度法政大学 秋学期『連合寄付講座：働くということと労働組合』プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9 /22	【オリエンテーション】労働組合とは何か	法政大学 教員
2	9 /29	【開講の辞】 連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起】 「働くこと」について考える～労働組合の役割と意義～	相原　康伸　教育文化協会理事長
3	10 / 6	テーマ①ワークルールの基礎・労働相談の事例	河野　広宣　連合総合組織局長
4	10/13	テーマ②労働時間	窪田亜希子　生保労連中央副執行委員長
5	10/20	テーマ③非正規雇用労働者の処遇改善	飯田　康介　ライフ労働組合執行委員長
6	10/27	テーマ④組織拡大の取組み	浜　　博幸　ＪＡＭ副書記長
7	11/10	テーマ⑤ジェンダー平等（教員講義）	上西　充子　法政大学キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科教授
8	11/17	テーマ⑤ジェンダー平等（ゲストスピーカー講義）	深見　正弘　全労金中央執行委員長
9	11/24	テーマ⑥雇用確保（合理化対策）（教員講義）	梅崎　　修　法政大学キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科教授
10	12/ 1	テーマ⑥雇用確保（合理化対策）（ゲストスピーカー講義）	矢内　俊行　ＵＡゼンセン製造産業部門 常任執行委員
11	12/ 8	テーマ⑦連合の労働政策	古賀　友晴　連合労働法制局局長
12	12/15	テーマ⑧労働組合の賃金交渉	白山友美子　Umios Union中央執行委員長
13	12/22	【修了講義】 連合運動の現在と未来～これから社会へ出る皆さんへ～	神保　政史　連合事務局長
14	1 /12	【論点整理】「働くということ」と労働組合	法政大学 教員

※講義時間は、火曜日15：00～16：40

2026年度埼玉大学 第4ターム「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	オンデマンド	オリエンテーション	禿　あや美　埼玉大学教授
2		【開講の辞】 連合寄付講座において埼玉大学生に学んで欲しいこと 労働者を取り巻く現状と課題を知る －労働組合が果たすべき役割とは	相原　康伸　教育文化協会理事長
3	12/ 9	労働相談から見た働く現場の現状と労働組合の取り組み	（調整中）連合中央労働相談センター
4		非正規雇用労働者の処遇改善をすすめる	飯田　康介　ライフ労働組合執行委員長
5	12/16	労働組合をつくる	山本　　伸　アルプス技研労働組合委員長
6		組合員の処遇改善の取り組み～春季生活闘争の取り組み～	白山友美子　Umios Union中央執行委員長
7	12/23	労働組合の政策活動② 働く仲間を守る ―航空連合の盗撮対策の取り組み―	小林　　茜　航空連合会長
8		労働組合の政策活動① カスタマーハラスメント対策に向けた労働組合の取り組み	宮野　勇馬　JR連合企画局長
9	1 / 6	多様な人材の活躍を促進する ―外国人労働者の組織化・処遇改善の事例を中心に―	（調整中）ＪＡＭ
10		仕事と生活の両立に向けた取り組み	永渕　達也　情報労連労働政策部長
11	1 /13	コロナ危機における雇用確保の取り組み	櫻田あすか　サービス連合会長
12		調整中	調整中
13	1 /20	連合の賃金に関する取り組み	（調整中）連合労働条件・中小地域対策局
14		【修了講義】連合運動の現在と未来 －これから社会へ出る皆さんへ－	神保　政史　連合事務局長
15	オンデマンド	教員によるまとめ	禿　あや美　埼玉大学教授

※講義時間は、水曜日　4時限（14：40～16：10）・5時限（16：20～17：50）

Rengoアカデミー・第25回マスターコース修了式を実施

～22名が1年におよぶプログラムを終了～



▲修了式の様子

10月5日（月）に、連合会館にてＲｅｎｇｏアカデミー・第25回マスターコースの修了式および修了論文報告会を開催し、22名の修了生が2025年11月から約1年にわたるプログラムを修了しました。

修了論文報告会では修了生が論文の要旨を発表し、担当講師からそれぞれコメントをいただきました。修了式では、Ｒｅｎｇｏアカデミー校長である芳野友子連合会長より修了証が授与され、最後に修了生を代表して橋元ゼミの寒河江則文さんより謝辞が述べられました。修了式後には修了祝賀会を開催し、修了生の出身組織代表者の皆さまからも修了生へ激励のメッセージが送られました。

修了生の皆さまの今後のご活躍を祈念するとともに、送り出していただいた各組織のご協力に感謝申し上げます。

ゼミ	所属・氏名	論文テーマ
禹	国公連合　伊仲　太樹	全駐労における組織率低下の要因分析
	ＪＩＬＡＦ　チュンサム・パーワリン	日本の労使関係の語り方の再構成　―海外労働組合向け研修の分析を通じて―
	ＵＡゼンセン　井上　克彦	多様化する人事制度の運用上の課題と労働組合の関与 ―単組の関与と制度運用の乖離に着目して―
	連合静岡　伊与田紀之	連合静岡における組織化活動の分析　～構成組織と地方連合会との連携の見える化を中心に～
梅崎	情報労連　長尾　祥太	新入社員における労働組合への無関心の形成過程　― 自己成長の文脈と労働組合理解の非同期性 ―
	日本労信協　小山杏依子	育児休業および短時間勤務における労働組合の関与 ―労使共同の取り組みにおける労働組合の役割―
	ＪＡＭ　盛田　賢介	異動の経験を組織の資源に変える　―ＪＡＭにおける人材育成制度の歴史と展望―
	電力総連　髙谷　鮎香	労働組合専従役員の働き方構造の再編 ― 生活上の制約を抱える人が「当然に担える」状態はいかに成立するのか ―
	ＪＥＣ連合　常深　哲史	中小労働組合におけるリーダー交代の事例研究　―持続可能な組織承継に求められる要素は何か―
木本	運輸労連　藤林　剛士	労働組合のマネジメント力を考える　― 支部ごとの違いを超えて ―
	情報労連　入江　優妃	障害者雇用をめぐる職場設計と労働組合の役割　― 情報通信産業における葛藤と実践から―
	国公連合　西　剛志	災害対応力と公務員体制の再構築　― 公務員の定員確保にむけた労働組合の役割 ―
	連合本部　佐久間理子	赤松常子論　― 女性運動における横断的実践とその思想 ―
橋元	自動車総連　髙岸　大夢	変革期における自動車産業労働組合の役割について ―経営対策活動の実態からみる課題と今後の方向性―
	情報労連　浅野　祥	春闘における原資配分と労働組合機能の変化 ― ＫＤＤＩにおける成果・評価重視型賃金制度の事例分析 ―
	ＵＡゼンセン　寒河江則文	職場オルグの実態　－流通業の職場オルグを通じて－
	電機連合　小池　秀幸	ジョブ型人事制度の賃金改定における労働組合の役割 ―富士通株式会社の「ジョブ型人材マネジメント制度」を元に検討する
	運輸労連　門脇　優作	組合専従者における男性育児休業の取得促進に向けて　～取得促進に向けた仕組み作りや制度設計～
長谷川	ＪＰ労組　宮城　千絵	ＪＰ労組における組合未加入の要因　― 未加入者の意思決定過程からみる組織化の課題 ―
	自動車総連　石嵜　湧太	男性の育児休業取得促進における労働組合の役割について　―日産労連の実態から考える―
	ＵＡゼンセン　花鳥賊昭広	改正事業譲渡指針等における努力義務の構造化 ―契約型事業譲渡における再編決定主体者説と集団的調整実務モデル―
	運輸労連　畤田　憲	物流業界のＭ＆Ａと労働組合　― 企業別労働組合と産業別労働組合の役割 ―

Ｒｅｎｇｏアカデミー・第26回マスターコースのご案内

Ｒｅｎｇｏアカデミー・マスターコースは、労働運動・社会運動の将来を担うリーダーの育成を目的に、講義や担当講師の指導によるゼミを通じて、約1年間で論文をまとめて修了するプログラムです。合宿の日程短縮、通学研修の追加、平日開催等、昨年度の見直しを踏襲した、より参加しやすいプログラムとなるよう運営の見直しを行っております。

第26回マスターコースは11月10日（火）より開講します。今回も各組織の支援のもと運営してまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

― 第14回定時総会を開催 ―

教育文化協会は、2026年9月14日に連合会館において第14回定時総会を開催しました。定時総会では、2025年度（2025年7月1日～2026年6月30日）決算、役員報酬総額、役員の選任の3議案について提案し、いずれも提案通り承認されました。また、これに先立ち開催した第61回理事会（6月16日）において、2026年度（2026年7月1日～2027年6月30日）事業計画・予算、特別寄附金の受領、役員報酬総額の4議案を、第62回理事会（8月28日）において、2025年度活動報告を、それぞれ提案し、いずれも提案通り承認されました。

31年目のあゆみをはじめた2026年度も、労働運動を担う人材育成、労働教育に対するニーズに応え、教育事業、文化事業、出版・広報事業の質的充実に努めてまいります。

※2025年度事業報告･決算報告および2026年度事業計画･収支予算は、ホームページに掲載しています。

公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事（34名）　　2026年9月14日時点

役職名	氏　名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏　名	所属団体・役職（職業）
理 事 長	相原　康伸	教育文化協会 理事長	理　事	福田　英樹	私鉄総連 委員長
副理事長	神保　政史	教育文化協会 副理事長／連合 事務局長	理　事	津崎　暁洋	フード連合 会長
専務理事	永井　浩	教育文化協会 専務理事	理　事	立川　博行	海員組合 政策局長
常務理事	河野　広宣	教育文化協会 常務理事／連合 総合組織局長	理　事	織田　正弘	交通労連 委員長
常務理事	遠藤和佳子	教育文化協会 常務理事	理　事	杉山　正治	労金協会 常務理事
理　事	畑　慎一	ＵＡゼンセン 副会長	理　事	大好　博己	こくみん共済 coop 常務理事
理　事	並木　泰宗	自動車総連 事務局長	理　事	村上　陽子	連合総研 専務理事
理　事	八巻　由美	自治労 総合企画総務局長	理　事	元林　稔博	国際労働財団 常務理事
理　事	浅田　和宏	電機連合 事務局長	理　事	佐保　昌一	中央労福協 事務局長
理　事	椎木　盛夫	ＪＡＭ 副書記長	理　事	梅原　貴司	総評会館 専務理事
理　事	田中　洋司	基幹労連 副執行委員長	理　事	宮本　礼一	日本労働会館 代表理事
理　事	安達　正美	ＪＰ労組 委員長	理　事	中村　圭介	東京大学 名誉教授
理　事	丹野　久	日教組 書記長	理　事	伊丹謙太郎	法政大学大学院連帯社会インスティテュート 教授
理　事	壬生　守也	電力総連 会長	理　事	今野浩一郎	学習院大学 名誉教授
理　事	春川　徹	情報労連 書記長	理　事	禹　宗杭	法政大学大学院連帯社会インスティテュート 教授
理　事	成田　幸隆	運輸労連 委員長	理　事	禿　あや美	埼玉大学学術院人文社会科学研究科経済学部 教授
理　事	堀谷　俊志	ＪＥＣ連合 会長	理　事	和田　寿昭	生協総研 専務理事

監事（3名）

役職名	氏　名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏　名	所属団体・役職（職業）
監　事	久保　啓子	連合 総合総務財政局長	監　事	山口　剛史	日本労信協 常務理事
監　事	堀　義行	生保労連 中央執行委員長			

顧問（5名）

役職名	氏　名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏　名	所属団体・役職（職業）
顧　問	西村　寿紀	元 専務理事	顧　問	南雲　弘行	元 理事長
顧　問	岡部　謙治	元 理事長	顧　問	神津里季生	元 Rengoアカデミー校長
顧　問	古賀　伸明	元 Rengoアカデミー校長			

第14回定時総会にて次の役員が退任しました。

理　　事　橋本　修平

在任中ひとかたならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。

ワークルール検定 2026 秋

◆受検者募集中◆

ワークルール検定は、働くときに必要な法律や決まりを身につけられる検定制度です。

いま、職場の環境が変わり、働き方も多様になって、身近なところでいろいろな問題が起こっています。でも、ワークルールを知っていれば問題を未然に防止できたり、解決できたりすることもたくさんあります。働く人にとっては、知識を身につけることによって自分や仲間を守ることができます。会社にとっては、コンプライアンスの推進や人材の確保に役立ちます。だれもが安心して働き続けられる職場をつくるために、この検定制度を大いに生かしてください。

自宅でも職場でも場所を問わず受けられるIBT方式となっておりますので、みなさまの挑戦をお待ちしています。

検定期間	11月28日（金）、29日（土）
申込受付締切	11月14日（金）

詳細はホームページをご覧ください



「ふるさと納税」でＩＬＥＣにご支援をお願いいたします

教育文化協会は、千代田区「ホームタウンちよだ応援事業」の指定団体となりました。これは、返礼品なしのふるさと納税により、千代田区を通じて指定団体に寄付をすることができる仕組みです。

いただいたご寄付は「私の提言」事業に活用いたします。ぜひ教育文化協会へのご支援をよろしくお願いいたします。

詳しくはこちら→https://www.furusato-tax.jp/product/detail/13101/7092846

編集後記

このたび、ILECに着任して初めてアカデミー修了生を送り出しました。修了式で受講生の皆さまの晴れやかな表情を見ながら、自分が受講していた頃のことを思い出していました（21期生の我が同期のみなさんもこれを読んで当時のことを思い出してもらえたら幸いです）。

まもなく第26回マスターコースがスタートします。新たな出会いと学びを楽しみにしながら、受講生の皆さまの挑戦を事務局一同しっかりと支えてまいります。　（はまちゃん）